

# 2013 年日本建築学会作品選奨

## 選考経過

### 1. 現地調査対象作品の選考

第1回作品選奨選考委員会は2012年10月2日に開催した。委員はあらかじめ作品選集2013掲載作品の提出資料を事前審査したうえで委員会に臨んだ。まず、選考にあたり委員と関係の深い者（組織を含む）の作品の有無を確認し、「日本建築学会作品選奨の審査にあたっての申し合わせ」にしたがい当該委員の職務の停止はしないが当該作品の審査には一切関与しないことを確認した。

選考は作品選集委員会によって選定された97作品（海外作品は除く）の中から行い、表彰作品数12の1.5倍程度の作品を現地調査の対象とすることとした。

- (1) 1人18作品を投票（以下すべて記名投票）し、5票以上の10作品を選定した。
- (2) 4票を得た5作品および3票を得た13作品の合計18作品を対象に、1人8作品を投票し、最多票の6票を得た4作品および5票を得た5作品について1作品ずつ議論し、審査対象とすることとした。

以上の結果、次の19作品を現地調査対象作品に決定した。

鶴岡まちなかキネマ、長楽寺禅堂、姫宮の住宅、ちよだの森歯科診療所、Ring Around a Tree、東京工業大学附属図書館、ホキ美術館、日本HP本社、GC Corporate Center、House in ABIKO、狭山ひかり幼稚園、天神山のアトリエ、つくば建築試験研究センター試験研究本館、石水博物館、テクニカフクイ新社屋、アトリエ・ビスクドール、森のすみか/nest、宇土市立宇土小学校、諫早市こどもの城

### 2. 作品選奨の選考

10月18日から11月22日にかけて、現地調査対象作品に対して、それぞれ2名の委員による現地調査を行った。その結果を踏まえて2013年1月29日に第2回作品選奨選考委員会を開催した。選考にあたり選考作品数は、基準としている12作品以内とすることを確認し、選考に入った。

- (1) 現地調査を行った全作品について、現地調査を行った委員から詳細な報告がなされ、1作品ごとに質疑討論を行った。
- (2) 現地調査を行った2名の委員の評価および他の委員の見解も踏まえ、作品選集と同様の評価基準および特徴的な評価軸に照らし、1作品ずつ議論を行った。
- (3) 現地調査を行った2名の委員の評価が高かった15作品を対象に、1人12作品に投票し、5票以上を得た13作品についてさらに議論し、全会一致で12作品を作品選奨候補として選定した。

以上の結果、次の12作品を2013年作品選奨候補作品として推薦することを決定した。

鶴岡まちなかキネマ、長楽寺禅堂、ちよだの森歯科診療所、Ring Around a Tree、東京工業大学附属図書館、ホキ美術館、GC Corporate Center、狭山ひかり幼稚園、つくば建築試験研究センター試験研究本館、アトリエ・ビスクドール、宇土市立宇土小学校、諫早市こどもの城